

・・・・・・「史料紹介コーナー」・・・・・・

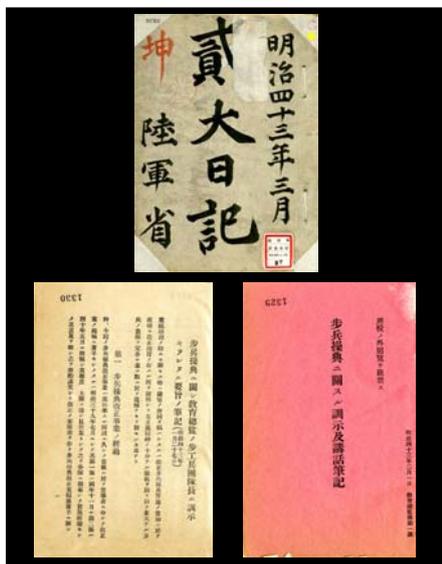
平成27年度も、各都道府県出身の陸海軍将官の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物などに関連する史料を紹介しています。

《 おおしま ひさなお
大島 久直 1848～1928年 》
—秋田県出身の陸軍大将—



旅順方面に於ける第三軍戦闘詳報（登録番号：戦役-日露戦役-220）

大島久直陸軍大将は、秋田県出身の陸海軍軍人の中で、ただ一人の大將で、明治4年5月中尉任官、明治39年5月大將進級、その間陸軍大学校校長を3度務め、日清戦争では桂太郎中将の指揮する第3師団の歩兵第6旅団長を、日露戦争では乃木希典大將が指揮する第3軍の第9師団長を務めています。なかでも明治37年8月19日から始まった旅順要塞攻略戦では、大島中将が指揮する第9師団は、第3軍の主力となって活躍しました。明治37年11月26日、2度にわたる総攻撃に失敗した第3軍は、第3回総攻撃を開始、12月6日には203高地を占領し、翌38年1月1日、旅順要塞を占領していたロシア軍は降伏しました。この史料は「旅順方面に於ける第三軍戦闘詳報」（明治37年11月26日～同年12月6日）で、第3回総攻撃の詳細が記述されています。



歩兵操典に関する訓示及講話筆記（登録番号：陸軍省-大日記-M43-37）

日露戦争後の明治39年7月、従来のドイツ歩兵操典の翻訳から脱却し、新たな歩兵操典の編纂が始まりました。そして改正案について、大島大将（近衛師団長、のち教育總監）を委員長とする歩兵操典改正案審査委員会で審議され、「種々講究研鑽ノ後、遂ニ我国体及民情等ニ適合シ且既往ノ経験特ニ明治三十七八年戦役ノ実験並諸般學術ノ進歩ノ趨嚮ニ鑑ミテ全く旧套ヲ脱セル帝国獨得ノ操典ヲ編纂スル」ことに決定、慎重な審議を経て、明治42年11月8日、改正歩兵操典が公布されました。この史料は「歩兵操典ニ関スル訓示及講話筆記」で、明治43年1月27日、全国の歩兵旅団長、連隊長等を東京に集め、歩兵操典改正の経緯や「歩兵操典改正ノ為採用シタル根本主義」などを説明した大島教育總監の訓示と陸軍戸山学校（戦術・戦技等の軍学校）校長の講話が載っています。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない、一時的に閲覧できない史料があります。詳しくは、防研ウェブサイト「閲覧が一時不能となる史料」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断転載・複製はお断りします。
防衛研究所企画部企画調整課
専用線：8-67-6522、6588（史料紹介コーナーのみ6668）
外線：03-3713-5912
FAX：03-3713-6149 ※ 防衛研究所ウェブサイト：<http://www.nids.go.jp>